

成瀬小学校の校歌・校章の完成について

前回第6回推進協議会において、校歌・校章の制作者より各案に対するコンセプトや制作の考え方についてご説明をいただきました。その後、学校長・副校長等で構成する「成瀬小学校校歌・校章選定会」において議論の結果、「成瀬小学校」の校歌・校章が完成しましたので報告いたします。

1. 校歌

制作者：作詞 濱野 崇（株式会社オフィスカオル）

作曲 笹木 研吾（株式会社オフィスカオル）

二	一	成瀬小学校 校歌
豊かな木々から受け取ったものは 飛び立つ力とこの笑顔 強く繋いだ手がさなる成瀬小 私たちはいつもひとりじゃない 大きく広い世界の中で 出会えた奇跡に「ありがとう」 それぞれの夢見つけても 絆はずっと変わらない 過ごした時を握りしめて みんなで一緒に目指そう 明日の空を	緑道色付き朝を迎えれば 水面が輝く 恩田川 優しい光に充ちるよ成瀬小 私たちは進むこの日々を 学びの空に集うカワセミ 歌声響かせ前向いて まっすぐに進んでいこう えがいていこうこの道を 笑い合い支え合いながら この日をみんなで一緒に生きていこう	作詞 濱野 崇 作曲 笹木 研吾

[コンセプト・制作の考え方]

- 「誠実な生活、自然と共に成長すること、大海へ漕ぎ出す未来」をコンセプトに、1番を「現在」、2番を「未来への道」というテーマで作成した。
- 児童や先生、保護者の方からのご意見を歌詞に取り入れ、両校の児童と共に制作するとともに、児童が生活する地域を歩き、土地の空気や人を感じながら制作した。
- 児童が歌詞の意味を理解しながら歌えるようにした。

(参考) 選定会での議論経過

- 1番を「現在」＝学校生活（現在の風景や学校生活など）、2番を未来に向かう（未来、願い）を軸にしてはどうか。
- 学校での学びや、「今」考える夢が自分を創っていくこと、学校生活の中で得られる（感じられる）ことを、能動的な子どもたちの姿が浮かぶ校歌になるといい。
- みんなで過ごした学校生活がずっと「心」に残るような言葉や表現があるといい。

2. 校章

制作者：デザイナー 大威 夏希、頓部 遥、中嶋 海帆

(東京造形大学グラフィックデザイン専攻領域)

制作指導 海士 智也(東京造形大学グラフィックデザイン専攻領域 教授)



モノクロ

[コンセプト] 「未来に花咲く、みんならしさ」

- たくさんの人が出会いあつまり、個性をのばしていく新しい小学校。それぞれのみんならしい花が咲くイメージから、5枚のちがう花びらをもつ花のシルエットをつくった。
- 東京都の木いちよう、町田市の木けやき、恩田川の桜、庭のシンボルの楓…、そしてみんなの笑顔が丸く広がる様子の5つをモチーフにしている。

(参考) 選定会での議論

[選定理由]

- 校名が入っていることで、成瀬小の校章だということを誰が見ても分かるようになっている。
- また、多様性や個性を大切にしていることが表現されており、学校を中心に多様なことが繋がっていくことが感じられる。
- さらに、二校が統合するということを強く主張していないが、色々な形があることで学校の成り立ちを学ぶきっかけになるようなデザインになっている。

3. 成瀬小学校 校歌・校章完成報告会について

2023年度から実施している児童の事前交流の集大成として、統合に向け、より全校児童が一体となり、新しい小学校への機運を高める機会とするため、「成瀬小学校開校前児童交流会」を実施します。イベント内容の1つとして、「成瀬小学校 校歌・校章完成報告会」を実施します。

実施日	2024年10月30日(水曜日)
会場	町田市立総合体育館 メインアリーナ
プログラム	9:20～ 児童交流イベント(玉入れ・成瀬ふるさと音頭) 10:35～ 両校校歌・校章の紹介 10:50～ 校歌・校章完成報告会 ① 全校児童による成瀬小学校校歌の歌唱 ② 成瀬小学校校章の発表